

平成25年度事業報告

事業の概要

平成25年度事業計画に基づき、香川県・中央団体の支援・指導及び関係諸団体並びに会員との緊密な連携を保ち、次の諸事業を実施し、本県畜産の振興に努めた。

《公益目的事業》

(公1) 畜産の経営支援に関する事業

1. 地域畜産支援指導等体制強化（地方競馬全国協会公募補助事業）

行政の補完業務の円滑な推進を図るとともに、会員及び関係団体との連携を密にして、畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化、地域畜産に対する理解増進等畜産関連公益活動体制の強化、地域団体と連携協調体制の基盤強化及び地域一体型事業モデル等の創出等の事業を実施し、本県畜産経営の安定に努めた。

2. 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

（独）農畜産業振興機構公募補助事業

地域における肉用牛の生産・改良基盤の育成・強化を図るため、中核的な繁殖経営農家の育成・支援及び離島地域における肉用牛振興により、肉用牛経営安定対策を補完する取組支援を実施した。

区 分		内 容	奨励金 単価	金 額	備 考
肉用牛生産基盤 強化対策事業	中核的担い手育 成増頭推進	増頭推進 3頭	80,000円	240,000円	香川県農業 協同組合
地域の特色ある 肉用牛振興対策 事業	離島等子牛流通 活性化	集出荷輸送費 31頭	1,600円	49,600円	
	優良子牛適正 出荷推進	出荷奨励 21頭	3,300円	69,300円	

3. 畜産特別資金等推進指導事業（（公社）中央畜産会補助事業）

畜産経営維持緊急支援資金借受農家（1戸）の経営計画達成のための、現地検討会の開催（2回）、支援協議会の開催（1回）、経営内容の調査・分析等を行い、改善上必要な事項について指導を行った。

地区名	資金名	貸付日	貸付金額	償還期間 (据置期間)	備 考
仲多度	緊急支援資金 (養豚)	H22. 5. 31	84,907,000円	15年 (5年)	2年間無利子

4. 畜産リース指導事業

1) 畜産近代化リース指導等事業（（公財）畜産近代化リース協会受託事業）

（公財）畜産近代化リース協会より貸付を受けた施設・機械（バルククーラー、ミルキングパーラー、コンプリートフィーダー、自動ほ乳機等）の巡回調査・指導を行うとともに、リース事業普及会議を開催し、借り受け農家の開拓に努めた。

2) 機構のリース事業（（財）畜産環境整備機構受託事業）

畜産農家等に対し、畜産環境対策に必要な機械・装置や飼養管理等に必要な機械・装置をリース方式で貸し付けるリース事業の効率的な推進を図るため、普及及び整備並びに適正実施等についての指導を行った。

5. 畜産経営技術高度化促進事業（香川県受託事業）

高度化する生産・経営技術に対応した支援指導を行うため、支援指導体制を整備し、畜産経営をめぐる情勢の変化に対応しうる経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成を図るため畜産経営技術の支援指導、インターネットによる県内畜産経営関係情報の提供を行い、本県畜産の発展に努めた。

区 分	内 容
畜産経営技術の個別支援指導	10 事例
畜産経営関係情報のデータベース化	ホームページ「かがわ畜産ひろば」の運用、情報の収集・蓄積

6. 地域未活用資源飼料化確立支援事業（国公募補助事業）

未活用資源であるひまわり種子搾り粕の利活用を図るための協議会を開催するとともに、給与実証試験及び畜産物の評価を行い、地域エコフィード(地域未活用資源飼料化)を支援した。

区 分	内 容
協議会の開催	3回 56名
讃岐夢豚への給与実証試験 (給与飼料：ひまわり種子搾り粕)	畜産試験場へ委託

7. 畜産関係団体調整機能強化事業（（公社）中央畜産会受託事業）

県行政と緊密な連携のもと厳しい畜産環境に対処するため、畜産関係団体と連携し、県内畜産の活性化を図った。

(1) 畜産関係団体の機能強化のため、関係団体による讃岐牛等枝肉共励会を開催した。

(2) 畜産生産者の相互連携と体制強化のため、肉牛・酪農関係団体等による讃岐畜産仲間づくり発表大会（発表3事例）を開催した。

(3) 畜産女性のグループ化を進め、讃岐畜産女性の会を開催するほか、第13回讃岐畜産女性の会牛枝肉展示共励会を坂出食肉卸売市場において開催した。

また、さぬきうまいもんまつり「食の大博覧会 2013」に協力し、畜産物の展示・試食・販売を通じ、畜産に求められる消費者ニーズの把握に努めた。

8. 畜産関係団体運営支援事業（香川県養鶏協会・香川県養豚協会受託事業）

香川県養鶏協会・香川県養豚協会からの事務局業務を受託、実施した。

（公2）畜産の価格差補填に関する事業

1. 肉用子牛生産者補給金制度（基金事業、（独）農畜産業振興機構補助事業、香川県助成事業）

（1）肉用子牛価格安定事業

牛肉の輸入情勢の変化が肉用子牛の価格等におよぼす影響に対処するため、肉用子牛の価格が保証基準価格を下回った場合に生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図る制度で、平成25年度は、第5業務対象年間（22年度～26年度）の4年目として事業を実施し、下表のとおり生産者に対し補給金を交付した。

①平成25年度生産者積立金造成状況 （単位：頭、円）

品種区分	契約頭数	積立単価	積立所要額	負担区分		
				生産者(1/4)	香川県(1/4)	農畜産業振興機構(1/2)
黒毛和種	943	2,200	2,074,600	518,650	518,650	1,037,300
その他の肉専用種	0	24,400	0	0	0	0
乳用種	628	12,700	7,975,600	1,993,900	1,993,900	3,987,800
交雑種	4,824	5,000	24,120,000	6,030,000	6,030,000	12,060,000
合計	6,395	—	34,170,200	8,542,550	8,542,550	17,085,100

②平成 25 年度保証基準価格及び合理化目標価格並びに平均売買価格（単位：円）

品種区分 区分	黒毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	320,000	209,000	122,000	188,000
合理化目標価格	273,000	144,000	86,000	142,000
平成 24 年度第 4 四半期	452,700	170,800	105,400	241,200
平成 25 年度第 1 四半期	471,400	244,000	120,300	265,000
平成 25 年度第 2 四半期	494,600	209,400	131,600	285,300
平成 25 年度第 3 四半期	538,900	320,400	144,900	333,500

③平成 25 年度生産者補給金交付状況（単位：頭、円）

区 分		黒毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	合 計
交付頭数		0	0	264	0	264
交 付 金 額	補給交付金	0	0	1,383,300	0	1,383,300
	生産者積立金	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	1,383,300	0	1,383,300

(2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

事務委託先 2 団体（香川県農業協同組合、一般社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て、肉用子牛生産者補給金の交付事務処理の効率化を図った。

また、事業の円滑な実施を図るため、推進会議の開催、普及啓発、調査指導及び現地調査等を行った。

2. 肉用牛繁殖経営支援事業（（独）農畜産業振興機構補助事業）

(1) 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が家族労働費の 8 割水準を下回った場合に差額の一部を補填することにより繁殖経営の所得を確保して、肉用牛繁殖経営基盤の安定を図る事業であるが、平成 25 年度については、交付実績はなかった。

肉用牛繁殖経営支援交付金交付状況（単位：頭、円）

区 分	黒毛和種	その他の 肉専用種	合 計
発動基準	410,000	270,000	—
交付頭数	0	0	0
交付金額	0	0	0

(2) 肉用牛繁殖経営支援地域推進事業

(独)農畜産業振興機構及び香川県並びに事務委託先2団体(香川県農業協同組合、一般社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会)の協力を得て、事業内容の周知及び円滑な実施を図るため、推進会議の開催、普及啓発等を行った。

3. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業(基金事業、(独)農畜産業振興機構公募補助事業、香川県助成事業)

(1) 肥育牛補填金交付対策

肉用牛肥育経営の安定を図ることを目的に、四半期ごとの肥育牛1頭当たりの粗収益(全国平均)が生産費(全国平均)を下回った場合に、生産者の拠出と県及び農畜産業振興機構の助成により造成した肥育安定基金から、肥育牛1頭当たりの粗収益と生産費との差額の8割を肥育牛補填金として交付した。

平成24年度は、第1業務対象年間(平成22年度～24年度)の3年目として事業を実施し、下表のとおり契約生産者に対し補填金を交付した。

なお、牛肉・稲わらからの暫定規制値等を超えるセシウム検出に関する緊急対応策のうち、肥育経営の支援対策として、平成23年度第2四半期より毎月補填を行っている。

なお、第1業務対象年間は、平成24年度で3カ年の業務対象年間が終了したので、品種毎に区分経理している肥育安定基金の残高について、補助を受けた独立行政法人農畜産業振興機構、生産者積立金の助成を受けた香川県および、契約生産者にそれぞれ返還を行った。

平成24年度事業(平成25年2月～3月)

① 肥育安定基金造成状況

(単位:頭、円)

品種 区分	積立 頭数	積立 単価	積立 所要額	負担区分		
				生産者	香川県	農畜産業 振興機構
肉専用種	528	52,000	27,456,000	6,726,720	137,280	20,592,000
交雑種	454	120,000	54,480,000	13,347,600	272,400	40,860,000
乳用種	177	120,000	21,240,000	5,203,800	106,200	15,930,000
計	1,159	—	103,176,000	25,278,120	515,880	77,382,000

② 肥育牛補填金交付状況

(単位:頭、円)

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	0	569	175	744
金額	0	35,517,700	11,822,000	47,339,700

③業務対象年間終了に係る補助金等の返還額 (単位：円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
契約生産者	68,974,263	76,962,236	11,953,782	157,890,281
香 川 県	1,407,639	1,570,659	243,955	3,222,253
(独) 農畜産業振興機構	211,145,704	235,598,686	36,593,212	483,337,602
返還額計	281,527,606	314,131,581	48,790,949	644,450,136

平成 25 年度事業 (平成 25 年 4 月～平成 26 年 1 月)

①肥育安定基金造成状況 (単位：頭、円)

品種 区分	積立 頭数	積立 単価	積 立 所要額	負 担 区 分		
				生産者	香川県	農畜産業 振興機構
肉専用種	2,807	72,000	202,104,000	49,796,180	729,820	151,578,000
交雑種	5,071	120,000	608,520,000	149,087,400	3,042,600	456,390,000
乳用種	817	100,000	81,700,000	20,016,500	408,500	61,275,000
計	8,695	—	892,324,000	218,900,080	4,180,920	669,243,000

②肥育牛補填金交付状況 (単位：頭、円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭 数	0	3,982	895	4,877
金 額	0	143,307,800	42,666,400	185,974,200

(2) 肥育経営安定推進

本事業の推進、個体登録・販売申出、積立金納入、肥育牛補填金交付業務等について事務委託先 2 団体（香川県農業協同組合、一般社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て推進を行った。

4. 養豚経営安定対策事業（(独) 農畜産業振興機構公募受託事業、生産者受託事業）

養豚経営安定対策事業が、(独) 農畜産業振興機構の直接交付方式になったことに伴い、生産者に対し事業説明会（1 回）を開催して事業内容の周知を図った。

①生産者積立金等造成状況 (単位：頭、円)

期 間	区 分	積立頭数	積立単価	積立所要額	負担区分	
					生産者 (1/2) (県費助成を 含む)	農畜産業振興 機構 (1/2)
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月		41,146	2,000	82,292,000	41,146,000	41,146,000

②養豚補填金交付状況

(単位：頭、円)

区 分	補填頭数	補填単価	補填金額
第1四半期	10,410	0	0
第2四半期	9,830	0	0
第3四半期	12,003	0	0
第4四半期	8,642	0	0
計	40,885	—	0

(公3) 家畜の生産衛生に関する事業

1. 家畜生産農場衛生推進事業

県下における家畜伝染性疾病の流行防止のため、畜産農場における家畜疾病の清浄化への組織的な取り組みの支援や指定する獣医師による予防接種を実施した。

1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業（国公募補助事業、独自事業）

生産農場における疾病の清浄化及び発生予防・流行防止のため、ワクチン接種推進に係る策定会議を開催し接種計画等を策定するとともに、吸血昆虫媒介疾病によるワクチン接種の推進や家畜防疫の実施のための経費助成等を行った。

- | | | | |
|--------------------------|----|------|-----|
| (1) ヨーネ病早期清浄化のための防疫推進講習会 | 1回 | 参集人員 | 22名 |
| (2) 農場飼養衛生管理強化対策事業に係る検討会 | 1回 | 参集人員 | 15名 |
| (3) 農場飼養衛生管理強化推進講習会 | 1回 | 参集人員 | 5名 |
| (4) ワクチン接種計画策定会議 | 1回 | 参集人員 | 12名 |
| (5) 事業推進会議 | 1回 | 参集人員 | 29名 |
| (6) 疾病発生・流行防止支援対策事業 | | | |

(単位：頭)

区 分	計画頭数	実施頭数			実施率 (%)
		東部	西部	計	
牛 牛異常産三種混合	4,700	2,512	1,862	4,374	93

2) 農場 HACCP 認証普及推進支援対策事業（(公社)中央畜産会受託事業）

農場 HACCP 普及現場での業務推進課題を明らかにするため、県内の中核的な畜産農場を対象に農場 HACCP 認証基準調査計画に基づいた調査を実施した。

3) 地域自衛防疫強化特別対策事業（家畜衛生対策推進協議会受託事業）

地域伝染病発生時の対応等を支援するため、畜産農家での初動防疫活動の有効な方策、地域特定疾病発生・拡大防止に関する検討等を行うとともに、生産者段階で

の防疫演習等を実施し、初動防疫活動が有効に機能する体制の整備、地域特定疾病（牛白血病）拡大防止に必要な衛生管理対策をモデル農場で行い、生産現場対策の強化を図ることにより、伝染性疾病の発生予防など防疫対策の強化に努めた。

(1) 地域自衛防疫強化推進対策

防疫演習検討会	4回	参集人員	63名
白血病対策会議	3回	参集人員	26名

(2) 早期緊急自衛防疫対策

香川県養鶏研修会（机上演習）	参集人員	93名
香川県鳥インフルエンザ防疫演習（実地演習）	参集人員	217名
鳥インフルエンザ防疫演習（実地演習）	参集人員	27名

(3) 特定疾病拡大防止支援対策（1集団2農場）

牛白血病抗体検査	289頭
初乳加温装置導入(1農場)、防虫ネット設置（1農場）	

4) 生産地等馬伝染性疾病防疫強化特別対策事業（(公社)中央畜産会受託事業）

地域防疫推進会議を開催し、乗用馬等の馬インフルエンザワクチン接種の推進並びに新興感染症対策（ウエストナイルウイルス感染症）の普及啓発の検討等を行った。

(1) 地域馬伝染性疾病防疫強化推進対策事業

地域防疫推進会議の開催	1回	参集人員	8名
-------------	----	------	----

(2) 馬インフルエンザワクチン接種推進事業

区 分	実 施 頭 数
ワクチン接種頭数	44頭

5) 特定疾病防止事業（独自事業）

牛・豚の各種疾病（牛コロナウイルス・牛ヘモフィルス・牛大腸菌性下痢症、豚丹毒・日本脳炎・豚パルボ等）の発生予防のため、指定獣医師により予防接種を実施した。

(単位：頭)

区 分	計画頭数	実 施 頭 数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
豚	豚丹毒	3,400	102	3,728	3,830	113
	日本脳炎	1,580	11	1,576	1,587	100
	日本脳炎・豚パルボ混合	250	0	106	106	42
	日脳・パルボ・ゲタ	1,400	145	1,452	1,597	114
	TGE・PED混合	550	0	628	628	114
牛	牛アカバネ病	10	0	0	0	0
	牛イバラキ病	870	624	220	844	97
	牛流行熱	10	0	0	0	0
	牛流行熱・イバラキ病	20	13	0	13	65
	牛IBR	0	14	12	26	-
	牛五種混合	1,730	1,403	345	1,748	101
	牛ヘモフィルス	500	356	24	380	76
	牛大腸菌性下痢症	100	49	64	113	113
	牛コロナウイルス感染症	1,440	569	742	1,311	91
	牛下痢五種混合	470	213	207	420	89
	牛マンヘミア・ヘモリチカ	420	57	70	127	30
	牛クロストリジウム・ボツリヌス感染症	30	93	0	93	310

指定獣医師の指定

区 分	指定人数
公益社団法人 香川県獣医師会	5名
香川県農業共済組合	25名
計	30名

2. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（国公募補助事業）

死亡牛の円滑な処理及びBSE検査を推進して、BSEに対する不安を払拭するため、県内で死亡した牛の所有者に対し処理経費助成等を行った。

区 分	内 容
死亡牛緊急検査処理円滑化推進協議会	1回 参集人員 20名
死亡牛検査処理安定化対策	処理頭数 285頭

3. 家畜防疫互助基金支援事業（（独）農畜産業振興機構補助事業）

口蹄疫、豚コレラ等が発生した場合に備え、発生時の経済的損失を互助補償する互助基金の仕組み等について、周知、参加促進を図った。24～26年度を事業実

施期間としている互助基金について、契約農家からの交付契約頭数変更申請を受け、増頭分の生産者積立金を徴収し、牛生産者基金（(公社)中央畜産会造成）の増額を行った。

生産者積立金造成状況

(単位：戸、頭、円)

区分	家畜の種類	契約戸数	契約頭数	生産者	
				積立金単価	積立金計
牛	乳牛（24ヶ月齢以上）	263	4,800	260	1,248,000
	乳牛（24ヶ月齢未満）		764	130	99,320
	肉専用種繁殖雌牛（24ヶ月齢以上）		1,261	260	327,860
	肉専用種繁殖雌牛（24ヶ月齢未満） 及び肉専用種肥育牛		6,058	195	1,181,310
	肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛		9,855	130	1,281,150
	乳用種肥育牛		1,653	130	214,890
豚	繁殖用種豚（雌）	23	3,688	120	442,560
	繁殖用種豚（雄）		213	240	51,120
	肥育豚（21日齢以上）		27,024	40	1,080,960
合計		286	55,316	—	5,927,170

(公4) 畜産及び畜産物の普及啓発に関する事業

1. 讃岐三畜銘柄確立総合対策事業（讃岐三畜銘柄化推進協議会補助事業）

讃岐三畜（讃岐牛、讃岐豚、讃岐コーチン）の銘柄確立を一体的・効率的に推進するため、推進協議会を開催して讃岐三畜販売促進のための企画調整等を行い、県内外におけるイベントへの参加、消費者懇談会、料理教室の開催、ホームページを活用した讃岐牛生産農家情報の開示などに取り組み、県産特産畜産物として認知度を高めるとともに、流通消費拡大に努めた。

また、讃岐牛・オリーブ牛の生産・販売体制を構築するとともに、海外への輸出にも着手し、今後の生産販売の基礎確立に努めた。

2. 牛乳乳製品消費促進事業（独自事業）

牛乳乳製品の消費促進のため、「ミルクメッセ in かがわ 2013」のイベントを開催し、牛乳・乳製品消費啓発パンフレットの配布、ミルクドリンクのレシピ紹介及び試飲、手作りバター体験等を実施した。

実施回数	イベント名	実施場所
1回	さぬきうまいもんまつり 「食の大博覧会 2013」	高松市 サンメッセ香川 大展示場

3. 学校給食用牛乳供給事業（（独）農畜産業振興機構公募補助事業）

安全で品質の高い国内産牛乳を学校給食用に年間継続して計画的かつ効率的に供給することを推進するための事業を実施した。

(1) 供給円滑化推進事業

学校給食用牛乳の供給についての共通認識等を醸成し、地域の特性を踏まえた効率化を推進するため、協議会等を開催した。

区 分	回 数
学校給食用牛乳推進協議会	2回
学校給食用牛乳推進協議会による実態調査	1回

(2) 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業

学校給食用牛乳の安定的な需要の確保、保護者負担額の軽減を図るため、不利な供給条件に基づく掛り増しとなる経費相当額の一部について、供給数量に応じ供給業者に交付した。

供給本数	対 象 地 区
434,767本	小豆島町、土庄町、直島町

《収益事業等》

(他 1) 生乳(原料牛乳)の検査に関する事業

1. 生乳検査事業

酪農経営の安定と生乳の品質改善等のため、畜産農家の依頼による生乳の成分、品質などの検査を実施した。

2. 生乳検査受託事業（四国生乳販売農業協同組合連合会受託事業）

四国生乳販売農業協同組合連合会の委託を受けて生乳検査を実施した。

検査件数は 180,884 件で前年比 95.9%であった。項目別検査の前年比は配分検査 97.3%、牛群検査 94.1%、依頼検査 113.7%であった。

四国四県の項目別検査件数（参考）

（単位：検体数）

区 分	25 年度					24 年度
	香川県	徳島県	愛媛県	高知県	4 県合計	
配分検査	5,262	7,148	8,954	3,310	24,674	25,366
牛群検査	26,763	25,678	56,701	32,023	141,165	150,091
依頼検査	11,642	3,303	32	68	15,045	13,228
合 計	43,667	36,129	65,687	35,401	180,884	188,685

（他 2）その他畜産振興に関する事業

- 1 会員である市・町及び農業協同組合等の開催する畜産共進会・肉牛枝肉共励会・乳質改善共励会等に協賛し、賞状・賞品を提供した。
- 2 畜産指導機関と連携して畜産振興に関する技術の普及に努めた。
- 3 畜産経営技術等に関する指導資料を定期的に会員・畜産関係団体等に配布し、畜産情勢・新技術等に関する情報の提供を行った。